CO2排出実質ゼロ

イノベックス・浅見昌之社長

22%の計6割に高めようとし ている。 温暖化ガスの排出量から植林 スを36~38%、原子力を20~ が6%だったのを30年に再エ 能エネルギーが22%、原子力 る。発電比率は22年に再生<u>可</u> 台計を実質ゼロにするカーボ などの吸収量を差し引いて、 ノニュートラルを目指してい |酸化炭素(CO²)などの 政府は2050年までに、

を示しており、達成の見通し は厳しい。そこで注目される %、原子力が4%の合計45% マッケンジーは再エネが31 までしか伸びないという試算 現場 中小の

しかし英調査会社のウッド

させれば、効率的な冷暖房と CO²削減が実現できる。省 エネルギーの冷暖房設備とし 東京スカイツリー(東京・墨 し、ヒートポンプで熱を移動 て認知され、すでに羽田空港、 うの会場となったアクアテ この外気温との差を利用 ` 、東京五輪・パラリンピ リングにより地面に穴をあ され、例えば熱交換のための 期投資が高くなることだ。 ルな配管を挿入し、土で埋め 循環させるためのフレキシブ け、熱交換用の流体を地中に 戻すことが多かった。課題は ボーリングの本数が増えて初 その後、新しい方式が開発

年を通して15~18度と安定し

ィクスセンターなどで活用さ

配管をため池や井戸に投入す

この地中熱利用は従来ボー

し池や井戸の水が流れない場 るという提案があった。しか

その一環として、ヒートク

ており、夏は冷たく、冬は温

再エネのひとつである地熱発

地中熱は地熱とは異なり、

竜には利用できない。 だが1

のが地中熱の活用だ。

《会社概要》

社 ∇ \star ▽事業概要 東京都中央区 プラスチックシート•フ ィルム、合成繊維製網製 品などの製造・販売

▽設 2013年2月 立 ▽従業員数 471人

(23年4月1日時点)

(2023年3月期) 上高 180億円



イノベックスの工場に導入した熱源孔。深 さ100メートルの熱源から合計200キロワッ (静岡県袋井市)

地 ・熱活用の冷暖房を

合、その水温が流体の温度に する各方面で好評を得てい 受けて遮光や遮熱を目的とし 近づき性能が落ちてしまう。 た機能製品が農業をはじめと 販売している。地球温暖化を 各資材、食品包材向けに製造 を建設や住宅、産業、農業の メッシュなどの合成樹脂製品 当社はシートやフィルム、 ーリング孔が5分の1で済 の採熱能力を持ち、採熱用ボ 般的な地中熱方式に比べ5倍 温を元に戻す。このため、一 と井戸から水を抜くことで水 の水温が流体の温度に近づく 入するだけでなく、井戸の中 用の特許技術と巡り合い、 年に特許実施権を得た。 む。このところ、脱化石燃料 ラスター方式という地中熱活 この方式は配管を井戸に投 19 異なる強みがある。当社が普 排出抑制を推進するための国 る機会が増えており、 入の際は提供企業にアプロー 業が提供しており、それぞれ 策を見いだしてほしい。 チして情報収集し、最適な方 技術も万能とはいえない。 及を目指すヒートクラスター 工場にも順次適用中だ。 の補助金の採択を得た。 地中熱利用はさまざまな企 C O₂ 導